

令和5年度施政方針

市議会6月定例議会の開会に当たり、末松市長が述べた施政方針について、鈴鹿市総合計画2023に掲げる5つの「将来都市像を支えるまちづくりの柱」と「自治体経営の柱」から、取り組む施策の一部を紹介します。

笑顔で活力のある住みよい鈴鹿へ

このたび、市民の皆様の負託を受け、4期目となります市政運営を担わせていただくこととなりました。

令和の時代に入り、私たちはコロナ禍を経験いたしました。令和2年1月に発生した未知なる感染症は、世界規模の脅威となり、私たちの生活様式も大きく変化をいたしました。

この間、本市におきましても、市民の皆様の安全・安心な暮らしを守り、また、市内経済の安定化を図るため、ワクチン接種などの感染拡大防止策をはじめ、幅広く、生活者支援や経済対策を実行してまいりました。

さらに、長引くウクライナ情勢による物価高騰の影響を受けた市民の皆様や事業者に対しても、スピード感を持って支援策を講じてまいりました。

このような中、これからの時代を切り拓き、さらなる市民サービスの向上を図るためには、今まで取り組んできた事業を推進するだけでなく、コロナ禍の経験を「未来への教訓」として捉え、新たに見えた課題にも果敢に挑戦していく必要があると痛感しました。

本格的な少子高齢社会を迎える中、本市に賑わいと交流が生まれ、市民の皆様が笑顔で活躍できるまちへと発展し続けるためには、まずは、本市の未来を担う全ての子どもたちの健やかな育ちを確保するとともに、権利を保障する必要があると考えております。

そのため、「子ども条例」の制定に取り組み、少子化やヤングケアラーの問題など、子どもに関するさまざまな課題の解決を図ってまいります。

また、これからのSociety5.0^(※)といわれる

※Society5.0:現実と仮想空間を一体化させて、社会問題の解決と経済発展を両立する社会のこと

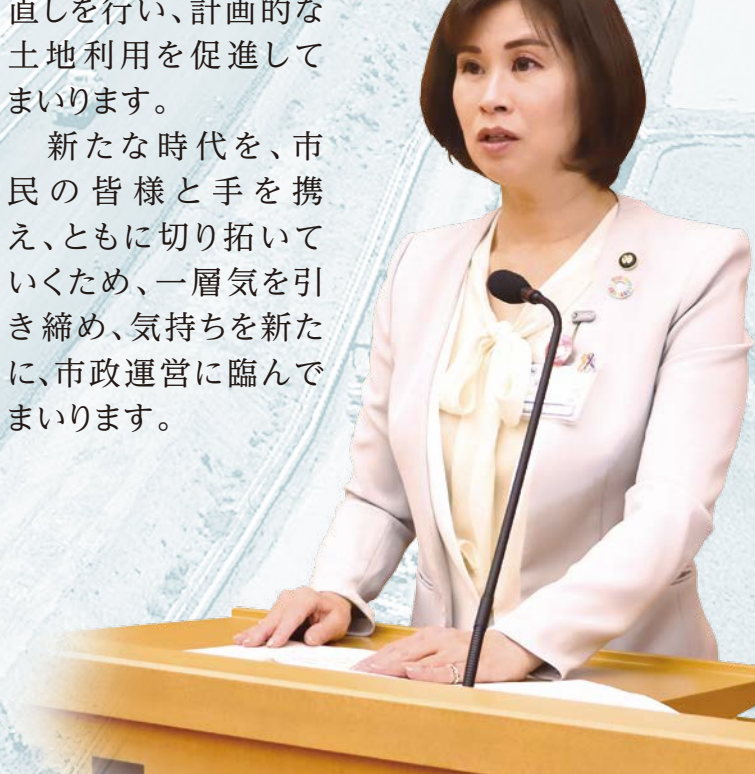
超スマート社会においても、子どもたちが、主体的に学び、社会を生き抜いていく力を身に付けられるよう、鈴鹿市教育大綱を見直し、本市が目指す「子どもの姿」を明確に示すことで、誰一人取り残さない教育環境を実現してまいります。

今年度は、鈴鹿市総合計画2023の最終年度であり、次期鈴鹿市総合計画の策定に向け、本市の将来像を描いていく非常に重要な年となります。

そのため、8年間の集大成として、後期基本計画の着実な推進を図りつつ、これからの時代を見据え、持続可能なまちづくりを官民協働で進めていくための羅針盤として、次期鈴鹿市総合計画を策定してまいります。

さらに、本市の将来都市構造や都市づくりにおける基本理念を示した「鈴鹿市都市マスタープラン」につきましても、次期鈴鹿市総合計画の策定に併せ、社会経済構造の変化を踏まえた効果的な見直しを行い、計画的な土地利用を促進してまいります。

新たな時代を、市民の皆様と手を携え、ともに切り拓いていくため、一層気を引き締め、気持ちを新たに、市政運営に臨んでまいります。



まちづくりの柱

大切な命と暮らしを守るまち すずか

南海トラフ地震をはじめ、全国的に被害が頻発している集中豪雨や台風などの自然災害に対する備えを行うとともに、市民の皆様の生命・財産を守る取り組みを行います。

インターネット版ハザードマップ作製

地震や豪雨災害時、市内で想定される被害の状況を取りまとめたインターネット版ハザードマップを作製し、公開します。



消防・救急体制の強化

地域防災の中核を担う消防団と連携するとともに、消防指令システムの更新を行い、消防・救急体制を強化します。



防犯カメラの設置促進

防犯カメラを設置する自治会などへの設置費用補助や、犯罪などの認知があった公園に防犯カメラを設置し、犯罪を抑止します。



まちづくりの柱

子どもの未来を創り 豊かな文化を育むまち すずか

安心して子育てができる環境づくりを実現するため、これまで以上に市民の皆様に寄り添った効果的な施策を講じます。

途切れない支援

不妊治療助成費の拡充や、子どもの成長を記録する「すずっこファイル」の活用など、途切れない支援を引き続き推進します。



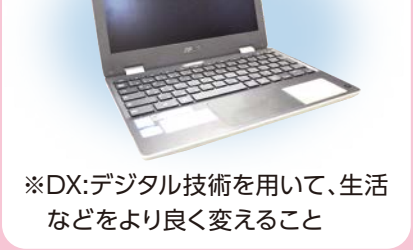
体育館へのエアコン整備

小・中学校の体育館にエアコンを整備し、児童・生徒の活動時や防災拠点としての利用時において、熱中症予防や環境改善を図ります。



教育のDX^(※)化

児童・生徒向けに配備された1人1台の端末を活用し、オンライン授業やデジタル教科書などにより、教育のDX化を推進します。



※DX:デジタル技術を用いて、生活をより良く変えること

まちづくりの柱

みんなが輝き 健康で笑顔があふれるまち すずか

コロナ禍の経験の中で、地域医療の充実に向けた取り組みを進めていくことの重要性を痛感したことから、子どもからお年寄りまで、健康で笑顔があふれる取り組みを進めます。

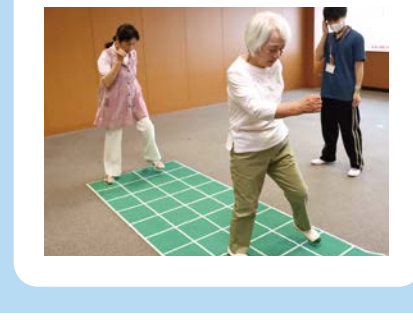
小児医療体制の充実

県や鈴鹿市医師会などの関係機関のほか、三重大と連携し、身近な地域で小児医療を受けられる体制の充実を図ります。



地域包括ケアの確立

誰もが住み慣れた地域で心身ともに健康で自立して暮らしていけるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進します。



重層的な支援体制の構築

福祉分野をはじめ、あらゆる分野の制度の垣根を超えた包括的な支援が行えるよう、重層的支援体制を構築します。



まちづくりの柱

自然と共生し 快適な生活環境をつくるまち すずか

次世代の子どもたちが安心して暮らせる持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みのほか、市民の皆様が快適に生活できる環境を整える取り組みを行います。

デマンド交通導入へ

現状の地域公共交通ネットワークの維持や利便性向上を図るとともに、新たな移動手段として、デマンド交通の導入を進めます。



幹線道路ネットワーク

企業活動を支えるとともに、災害時に機能する幹線道路ネットワークの早期整備に向けて、国や県に強く働きかけます。



都市公園の魅力向上

パークPFIなど、公民連携による施設の利活用を検討し、都市公園の魅力や利便性の向上を図ります。



まちづくりの柱

活力ある産業が育ち にぎわいと交流が生まれるまち すずか

本年度に全線開通する国道23号中勢バイパスなどの幹線道路の整備をチャンスと捉え、産業活性化を図ります。また、本市の豊かな自然や文化などを生かし、にぎわいと交流が生まれるまちを目指します。

企業誘致の推進

民間主導の土地区画整理事業により整備された鈴鹿構工業団地への企業誘致を進めます。また、効果的な土地の利活用を検討します。



農林水産業の持続的発展

ほ場（水田）整備事業や農業用水のパイプライン化など、農業生産基盤の整備促進や、担い手を育成し、食料の安定供給に向けた取り組みを行います。



モータースポーツのまちの発信

eモータースポーツを活用することで、リアルとバーチャルの両面から、本市最大の地域資源であるモータースポーツを発信します。



市民力、行政力の向上のために

5つの「まちづくりの柱」を推進していくためには、基礎となる市民力、行政力のさらなる向上が欠かせません。質の高い行政経営を実現するため、行政力の向上に取り組めます。

男女共同参画の推進
男女共同参画意識を高めていただけるよう、情報発信や啓発事業を行います。

人権意識の高揚
人権尊重都市宣言30周年に合わせて、「じんけんフェスタinすずか」を開催します。

多文化共生の推進
外国人市民が生活する上で必要な行政情報や生活情報などを届ける手段を拡充します。

市民が主役のまちづくりの推進
地域づくり協議会などと連携し、持続可能なまちづくりを進めます。

行政と市民との情報共有
ホームページの全面リニューアルを行うほか、SNSなどを活用し、効果的に情報発信します。

公共施設マネジメント
施設保有量の適正化や運営管理の適正化、公共施設の長寿命化に取り組めます。

健全な財政運営
鈴鹿市総合計画を中心とし、計画的かつ健全な財政運営に努めます。

職員の能力向上
市職員の行政経営に対する意識を高めるとともに、職務執行能力の向上に取り組めます。

※この施政方針は概要です。全文は、市ホームページをご覧ください。

今回の特集に関するご意見・ご感想は
総合政策課 ☎382-9038 ✉382-9040
sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp